アメリカン電機株式会社

製品仕様書	承認	確認	作成
	小池 '19.06.25 俊輔	小池 '19.06.25 俊輔	松川 '19.06.24 克巳

型録番号	KC1080・KC1085・KC1086	極配置	
製品名	引掛形コンビ OA タップ（2 ヶ口）コードセット		
定格	接地形 2P　15A　125V		

索　　引

1.　適用範囲　1 頁
2.　型録番号，品名，定格及び電気用品安全法　1 頁
3.　外観，構造，寸法，材料及び色相　1 頁
　3.1.　外観　〃
　3.2.　構造　〃
　3.3.　寸法　〃
　3.4.　材料　〃
　3.5.　色相　〃
4.　性能　1 頁
　4.1.　電気的性能　1 頁
　　4.1.1.　絶縁抵抗　〃
　　4.1.2.　耐電圧　2 頁
　　4.1.3.　接触抵抗　〃
　　4.1.4.　温度上昇　〃
　　4.1.5.　開閉　〃
　4.2.　機械的性能　2 頁
　　4.2.1.　保持力（平刃形）　〃
　　4.2.2.　外郭強度　〃
　　4.2.3.　引張荷重　〃
　　4.2.4.　コード引止部の強度　〃
　　4.2.5.　振子自重落下　3 頁
　4.3.　耐熱性能　3 頁
5.　包装表示　3 頁
6.　関連規格　3 頁
7.　組立図面　別紙

№19−1−10	作成年月日	‘18 年 5 月 11 日	改定年月日	‘19 年 6 月 24 日

1. 適用範囲

この仕様書は、アメリカン電機株式会社に於いて製造、販売する KC1080・KC1085・KC1086 引掛形コンビ OA タップ（2 ヶ口）コードセットについて規定する。

（プラグの製品仕様書は別紙による。）

2. 型録番号，品名，定格及び電気用品安全法

型録番号　KC1080・KC1085・KC1086

品名　引掛形コンビ OA タップ（2 ヶ口）コードセット

定格　接地形 2P　15A　125V

電気用品安全法　特定電気用品適合　・KC1080（KU1080・3112N-IV・コード）

・KC1085（KU1080・7112GN-IV・コード）

・KC1086（KU1080・ハーネスプラグ・コード）

3. 外観、構造、寸法、材料及び色相

3.1. 外観

機能上、並びに使用上有害な変形、キズ、ワレ、ヨゴレ、サビ等がないこと。

3.2. 構造

(1) 構成部品全てによって形状が正しく組み立てられていること。

(2) 通常の使用状態で、充電金属部に人が容易に触れる恐れがないこと。

(3) 端子ねじの作用している山数は 2 山以上あること。

(4) 開閉の際、アークによる短絡又は地絡を生じる恐れがないこと。

(5) 端子部は圧着端子接続ができること。

3.3. 寸法

寸法，形状は添付図面のとおりであること。

3.4. 材料

構成部品の材料は添付図面のとおりであること。

3.5. 色相

下記色相により、構成されている。

型録番号	本体	プラグ	コード
KC1080	KU1080 白色	3112N-IV　白色	白色
KC1085		7112GN-IV　白色	
KC1086		ハーネスプラグ　白色	

4. 性能

4.1. 電気的性能

4.1.1. 絶縁抵抗

500V の絶縁抵抗計で、極性が異なる充電金属部間、並びに各充電金属部と非充電金属部との間を測定した絶縁抵抗値は、開閉試験前で 100MΩ以上、開閉試験後で 5MΩ以上であること。

4.1.2. 耐電圧

4.1.1 項の試験部に 50HZ、又は 60HZ のほぼ正弦波に近い交流電圧 1250V を 1 分間加圧したときこれに耐えること。

4.1.3. 接触抵抗

通常の使用状態に於いて、接地極刃受と対応するプラグの接地極刃との接触抵抗は 50mΩ以下であること。

4.1.4. 温度上昇

通常の使用状態に於いて、定格電流 15A を通電し、温度がほぼ一定となったとき、刃受部の最高温度上昇値は 30℃以下であること。

なお、この試験は開閉試験前後に行なう。

4.1.5. 開閉

（平刃形）

通常の使用状態に於いて、15A　125V　力率約 1 を通電し、毎分 20 回の割合で連続 5000 回の開閉を行い、更に 1.5 倍の電流の 22.5A　125V　力率約 1 を通電し、毎分 20 回の割合で連続 100 回の開閉を行ったとき、極間短絡その他使用上有害な故障が生じないこと。

（引掛形）

通常の使用状態に於いて、1.5 倍の電流の 22.5A　125V　力率約 1 を通電し、毎分 20 回の割合で連続 100 回の開閉を行ったとき、極間短絡その他使用上有害な故障が生じないこと。

4.2. 機械的性能

4.2.1. 保持力（平刃形）

試験用プラグを正しくさし込み、これを引抜く方向に真直ぐに引張荷重を徐々に加え、プラグが抜け出すときの値が 15N～60N の範囲内であること。

なお、この試験は開閉試験前後に行なう。

4.2.2. 外郭強度

通常の使用状態に於いて、厚さ 15mm 以上の堅木の平らな板の間に挟み、徐々に押圧荷重を加え、600N に達したときから 1 分間その値に保持したのち、荷重を取り去ったとき、外郭の破損その他使用上有害な故障が生じないこと。

4.2.3. 引張荷重

以下の試験を行ったとき、外郭又はコードグリップの破損その他使用上有害な故障が生じないこと。

(a)本体に対応する引掛形プラグを通常の使用状態に正しく組合せ、その間に 150N の引張荷重を連続して 1 分間加える。

(b)コードと本体との間に 150N の引張荷重を連続して 1 分間加える。

4.2.4. コード引止部の強度

コードの引出方向に真直にコードと本体の間に徐々に引張荷重を加え、90N で 1 秒間の操作を 25 回行った時、コード引止部の破損がなくコード接続部のズレが 2mm 以下であること。

4.2.5. 振子自重落下

鉛直面の延長上において長さ 1m のコードを本体が木板の中央に当たるように支持し、1m の高さから 3 回自然落下させ、破損等有害な支障がないこと。可能な範囲で本体が木板にあたる箇所が異なること。

4.3. 耐熱 80℃±3℃の恒温槽内に入れ、7 時間経過ののち取り出し自然に室温まで冷却し点検したとき軟化、変形、膨れ、その他使用上有害な異常が生じないこと。

5. 包装表示

表示事項は、型録番号、品名、定格、数量及び社名等から構成している。

6. 関連規格

JISC8303　　配線用差込接続器

JISC8306　　配線器具の試験方法

電気用品安全法

以上